

令和3年度

福島成蹊中学校 1期入試問題

理科・社会〔社会分野〕

令和2年11月29日（日）

時間 11時15分～11時35分（20分間）

「はじめ」の合図があるまでは、この問題用紙の中を開いてはいけません。

注意事項

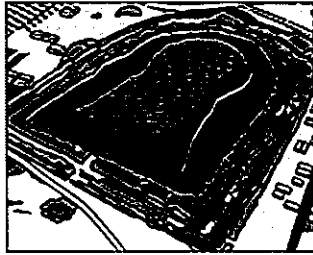
1. 問題用紙と解答用紙が配布されます。
2. 問題用紙は1ページから6ページまでです。
3. 問題は【1】から【3】までです。
4. 監督者の指示に従い、解答用紙の注意事項にそって必要事項を記入しなさい。
5. 解答は記述式です。最も適切な答えを解答用紙にていねいに記入しなさい。
6. 問題の内容についての質問は、一切応じません。それ以外のことがらについてたずねたいことがあれば、手をあげて監督者に聞きなさい。
7. 監督者の「はじめ」の合図で始め、「やめ」の合図ですぐやめなさい。
8. 定規を使用してもかまいません。ただし、計算機能を有する機器は使用してはいけません。

【1】次の資料1～7を見て、各問いに答えよ。

資料1



資料2



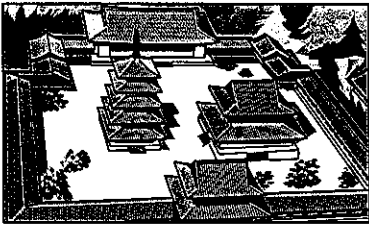
資料3



資料4



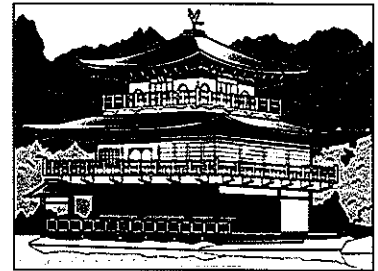
資料5



資料6



資料7



問1 資料1は室町時代に描かれた水墨画であるが、この作品の作者名を答えよ。

問2 資料2は、現在の大阪府堺市にある大仙古墳であるが、資料2のような古墳の形を何というか答えよ。

問3 資料3に関する下の文章を読んで、(1)(2)にそれぞれ答えよ。

織田信長の後継者争いに勝利した は、大阪を直接支配した。
 資料3は、 が築いた大阪城をえがいたものである。

(1) 上の文章の にあてはまる人物名を答えよ。

(2) 下線部の人物が行った宗教政策を、年表1、図1を参考にして答えよ。

ただし、「仏教」、「キリスト教」という二つの語を用いること。

年表1

1570年	信長と石山本願寺との戦いが始まる
1571年	信長が延暦寺を焼き討ちする
1574年～ 1577年	信長が各地の一向一揆を鎮圧する
1580年	信長が石山本願寺を降伏させる

図1



問4 資料4は、東大寺の大仏である。下の(1)(2)に答えよ。

(1) この大仏を建立した天皇を答えよ。

(2) (1)の天皇が都に東大寺や地方に国分寺・国分尼寺を建立した目的は何か。簡単に答えよ。

問5 資料5について、下の(1)(2)に答えよ。

(1) 資料5は世界最古の木造建築として世界遺産に登録された寺院である。この寺院名を答えよ。

(2) 資料5を建てたといわれる人物が活躍したころのわが国のようすについて述べた次のA、Bの文の正誤の組み合わせとして、正しいものは下のア～エのどれか答えよ。

A 冠位十二階の制度が定められ、家柄にとらわれず、能力や功績のある人物が役人に取り立てられた。

B 班田収授法が定められ、6歳以上の男女に口分田があたえられた。

ア A=正, B=正

イ A=正, B=誤

ウ A=誤, B=正

エ A=誤, B=誤

問6 資料6について、この人物は中国・唐の時代の僧侶である。度重なる日本への渡航失敗により失明しながらも、日本へ来日したこの僧の名を答えよ。

問7 資料7は現在の京都市に建てられた金閣である。金閣を建てた人物名を答えよ。

【2】 次の各問いに答えよ。

問1 貴子さんたちのクラスでは、資料1をもとに、日本や地域の人口減少をおさえる対策について話し合いをしました。次の(1)、(2)の問いに答えよ。

(1) 後の **ア** , **イ** に入る適切な語を答えよ。

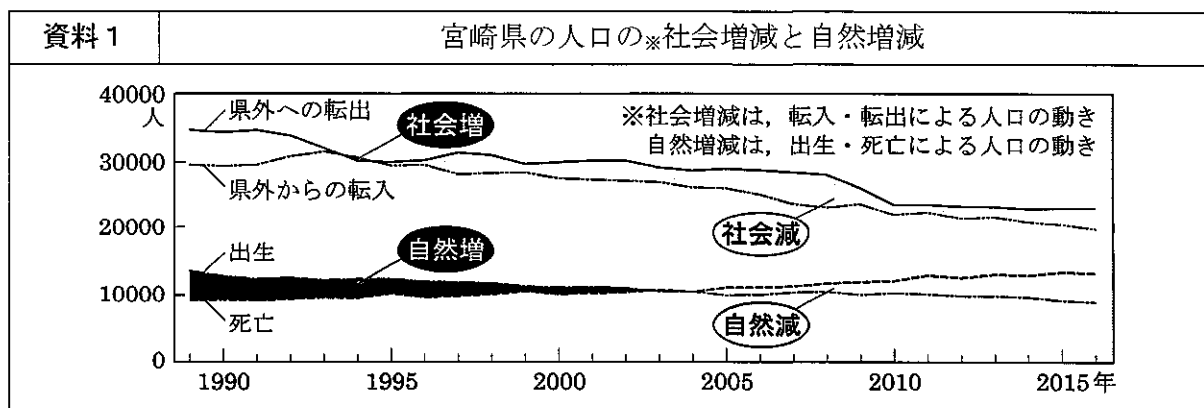
(2) 後の **ウ** には、AかBのどちらかを、**エ** , **オ** には、その立場から適切な内容を答えよ。



先生

前の授業で、宮崎県の人口が、2060年には約60万人になると推計されていることを知りましたね。今日は、宮崎県の状況をふまえた上で、日本や地域の人口減少をおさえる対策について考えていきましょう。

資料1を見てください。社会減や自然減などの人口減少をできるだけおさえるためには、どのような対策が必要だと思いますか。



(「宮崎県ホームページ資料」より作成)

資料1の社会増減で考えると、県外への転出が、県外からの転入を上回っている
ので、県外からの移住や、県内での **ア** を促進する必要があると思います。



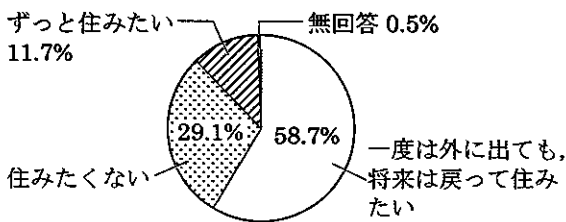
資料1の自然増減で考えると、県の人口は減少していくと思われるので、
イ を増加させる必要があると思います。



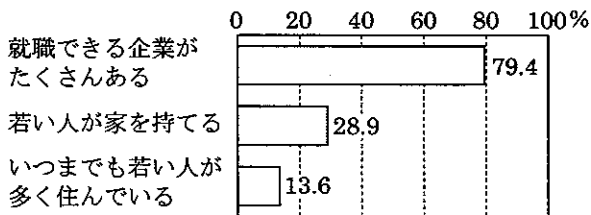
2人が発表したように、社会増と自然増をめざしていくことが必要ですね。しかし、人口減少は宮崎県だけの問題ではありません。そこで、みなさん、次の資料A、Bのどちらかを選び、その立場から、日本や地域の人口減少をおさえる対策を考え、そのように考えた理由も述べてください。

資料A (社会増の立場)

<現在住んでいる地域に将来も住みたい若者の割合>



<若者が住みよい町になるための条件>

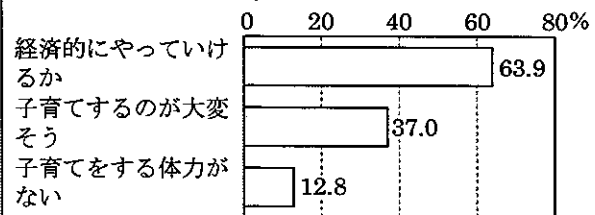


資料B (自然増の立場)

<年齢階級別の非正規雇用(労働)者の割合(%)>

	1990年	2000年	2017年
15~24歳	20.5	40.5	47.7
25~34歳	11.7	15.8	25.9
35~44歳	20.9	23.1	28.6

<子育てで不安に思っていること>



(「平成29年労働力調査」、「平成27年結婚・家族形成に関する意識調査報告書」他より作成)

私は資料 **ウ** を選びました。この資料から、私が考えた対策は、**エ** です。そのように考えた理由は、資料から **オ** です。

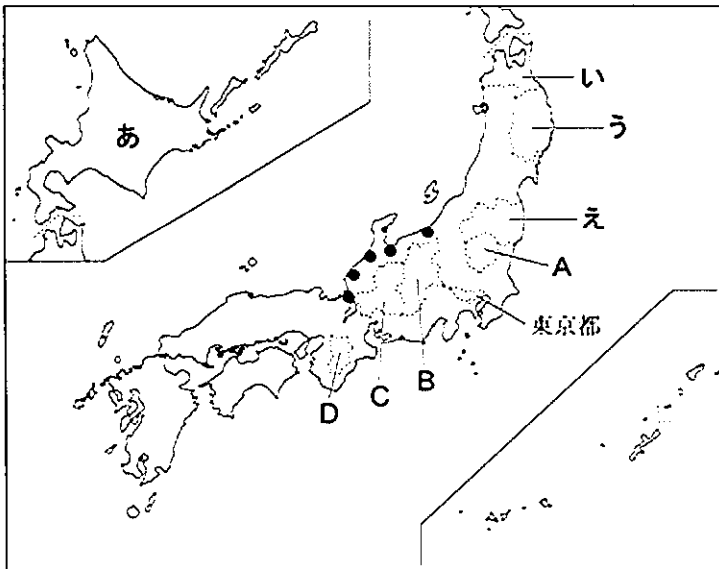


なるほど。私はもう1つの資料を選んで、別の立場から考えました……(省略)。他に考えられる対策はないか、みんなの意見も聞いてみたいです。



人口減少をおさえることは、日本の重要な課題の1つですね。授業以外の場でも関心をもって、これからも考え続けていきましょう。

問2 次の地図を見て、(1)～(3)に答えよ。

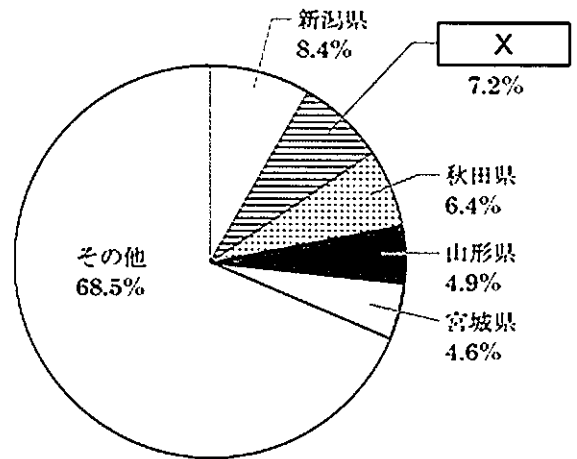


(1) 図中のA～Dの県のうち、それぞれの県に接している府県の数が多い県の記号と県名をそれぞれ答えよ。

(注) ●：1月の降水量が250mm以上の地点。降水量は1981年から2010年までの平均値を用いている。
 (「理科年表平成30年」より作成)

(2) 右の資料は、米の収穫量上位5都道府県の全国の米の収穫量に占める割合を示したものであり、次の文章は、社会科の授業で、ゆうたさんが、資料中のXにおける米づくりについてまとめたレポートの一部である。資料中及び文章中の X に共通してあてはまる道県として最も適当なものを図中のあ～えのうちから一つ選び、その記号と都道府県名をそれぞれ答えよ。また、文章中の Y にあてはまる適当な語を漢字4字で答えよ。

資料 米の収穫量上位5都道府県の全国の米の収穫量に占める割合(2016年)



稲の生育期間である夏季の気温が低い X は、もともと稲作には不向きな地域でした。しかし、寒さに強い稲を生み出すための Y が重ねられたことなどで、日本有数の米の生産地となりました。

(3) 次の文は、ゆうたさんが、地図中に ● で示した1月の降水量が250mm以上の地点で、太平洋側と比べて1月の降水量が多くなる理由をまとめたレポートの一部である。文中の□にあてはまる語句を答えよ。

これらの地点がある北陸で、1月の降水量が多くなるのは、主に北西の季節風が、日本海をわたるときに水分をふくんで雲をつくり、山地にぶつかって□や雨を降らせるためです。

【3】 次の各問いに答えよ。

問1 次の日本国憲法について書いたレポートの一部である。(1)～(3)の問いに答えよ。

㉑日本国憲法は、第二次世界大戦後、大日本帝国憲法を改正する手続きをへて成立しました。この憲法は、欧米の近代の憲法と同じように㉒立憲主義の考え方にもとづいてつくられており、政治が人の支配によってではなく、法の支配にもとづいて行われることが求められています。

前文には、この憲法が制定された理由や目的が書かれており、国民主権、基本的人権の尊重、平和主義の三つの基本原理から成り立っていることがわかります。基本的人権は、平等権、自由権、社会権、参政権などに分けることができ、侵すことのできない永久の権利とされています。

また、政治のしくみについては、国の権力は立法、行政、司法の三権に分けられ、それぞれ国会、㉓内閣、裁判所が担当する三権分立を採用しています。この中でも国会は、国民が選挙によって選んだ、国民の代表者である国会議員によって構成されており、国権の最高機関と位置づけられています。私たち国民が、主権者として選挙で投票し、自分の意見や考えを政治に反映させていくことが大切だと思います。

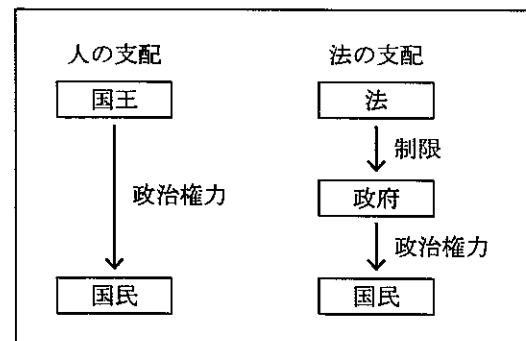
(1) ㉑に関して、次の条文の にあてはまる同一のことばを漢字で答えよ。

第1条 天皇は、日本国の であり日本国民統合の であつて、この地位は、主権の存する日本国民の総意に基く。

(2) ㉒に関して、資料1は、人の支配と法の支配を模式的に示したものである。資料1を参考にして、法の支配について述べた次の文の X に適することばを補い、これを完成させよ。

法の支配における法の役割は、 X ために政府の権力を制限することである。

資料1



(3) ㉓に関して、現在(2020年10月)の内閣総理大臣の人物名を次のア～エの中から1つ選んで答えよ。

- ア 菅義偉 イ 安倍晋三 ウ 菅直人 エ 麻生太郎

問2 現代社会の諸問題について、(1)(2)に答えよ。

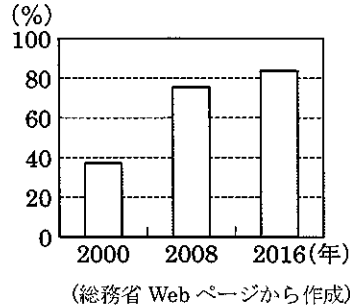
(1) 志保さんは、収集した次の資料1と資料2をもとに平成における情報化の進展について考えた。志保さんの考察の に当てはまる適当な内容を、「情報」ということばを用いて答えよ。

資料1 新聞発行部数と雑誌出版点数の推移

	新聞発行部数(千部)	雑誌出版点数(点)
1992	51 938	3 851
2000	53 709	4 533
2008	51 491	4 353
2016	43 276	3 589

(注) 点数は出版された数のこと。
(日本新聞協会 Web ページなどから作成)

資料2 インターネットの人口普及率の推移



志保さんの考察

平成の半ばである2000年以降、新聞発行部数と雑誌出版点数が ことがおもな原因だと考えられます。平成の情報化には、インターネットが大きく影響していると思います。

(2) 次は、小学生が平成という時代を通して考えた、新時代に求められることについて発表する原稿の一部である。 に当てはまる適当な内容を答えよ。

平成という時代には、少子高齢化、情報化、グローバル化などを背景に社会が大きく変化するとともに、多くの課題にも直面してきたことがわかりました。それぞれの課題に対しては、さまざまな人の利益や考えに配慮するという視点から考えていくことが大切になると感じました。その際、私たちに求められることは、一人一人の ことだと思います。これは、日本国憲法の基本原理（原則）の一つを踏まえたものですが、人が生まれながらもつ自由や平等の権利こそが、新しい時代でも課題の解決に向けて最も大切な指針になると考えたからです。